

PTAふれあい祭りで落語

相模原市立当麻田小学校

2005年11月5日(土)の午前、相模原市立当麻田小学校で『ふれあい祭り』が行われ、さがみはら教育応援団からは落語家の三遊亭らん丈さんが講師として参加しました。

会場の体育館入り口には『ふれあい祭り』の文字が、そして、らん丈さんが落語を披露するステージには『ようこそ、らん丈さん!』の手作りの飾りがしてあり、らん丈さんを、みんなが楽しみに待っているという気持ちが伝わってくるようでした。

子ども達の「らん丈さ～ん!」という大きな呼び声で、らん丈さんが入場しました。

らん丈さんは、立ったままマイクを使い、ホワイトボードも利用して、まず、「落語とはどのようなものか」について、子ども達とのやりとりも交えながら説明し、小咄をいくつか紹介しました。太鼓も用意されており、「落語でたたかれる太鼓には意味があるからよく聞いてみて下さい」と実際にたたいてみせました。

初めの太鼓は『ドンドンドンと来い!』

終わりの太鼓は『出てけ出てけ出てけテンデンバラ!』

そう言われて改めて聞くと、そのように聞こえてくるから不思議でした。子ども達も納得している様子でした。

「『寿限無(じゅげむ)』を知っているかい?」という質問に「知ってる～～」とか、「言える～～」という子どもが大勢いました。「みんなの前でできる人」と言う、らん丈さんの呼びかけに2年生の男子2名が前に出てくれました。見事に『寿限無』を唱え(?)て、大きな拍手をもらいました。

らん丈さんの今日の出しものは『転失気(てんしき)』でした。

噺が終わり「何か質問のある人は?」と会場に問いかけると、低学年らしい男子から「テンシキって何?」と質問され、さすがのらん丈さんも「」でした。



とにかくにも天気に恵まれ、会場には150名以上の子ども達とお家の人達が集まりました。中にはお父さんらしき人の膝に座って見ている子も居り、『ふれあい祭り』ならではのほほえましく和やかな光景が見られました。

ところで、みなさんは『転失気』って何のことかご存じですか?